



KTチャンプ第2大会は 高村宏弥が完全優勝！

MOTUL KTチャンプの第3戦・第4戦は7月16日に25台のエントリーを集めて行われた。

今回は、併催の鈴鹿選手権でSSクラスの開催がないことから、普段はSSクラスに出場している強豪選手も、このKTチャンプへとスポット参戦してきた。

タイムトライアルでは、そんなスポット参戦組の高村宏弥がトップタイム。同じくスポット参戦の久富圭が2番手とフロントローを占める。3番手にはベテランの田中哲、4番手にランキングトップの大槻直が続く。

第3戦決勝では、高村が好スタートからホールショット。その後ろに久富が続ぎ、序盤から2台が抜け出しマッチレースを展開する。その後方では角陽向、大槻、林零仁が3番手争いを

展開していく。

トップ2台は接近戦のまま終盤戦へ。直後につける久富だったが、なかなか仕掛けることができず周回が消化されていく。最後まで久富を抑えきった高村が、KTチャンプデビューレースで優勝。2位に久富、3位大槻となった。

第4戦ではPPスタートだった久富がホールショット。今度は高村が追う展開となるが、2周目には早くも逆転し、先頭に出る。第3戦同様の展開になるかと思われたが、今度は高村のペースが良く、次第に久富を引き離し独走へ。その久富の背後には、3番手に上がってきた大槻が接近し、17周目に逆転する。トップの高村は悠々と独走で2連勝。大槻2位、久富3位で大槻が初タイトルに王手をかけた。

Rd.3

Pos.No.	Driver	Team	Frame	Engine	Q.P.	GRID
1	6 高村宏弥	HIGUCHI RACING TEAM	SWF	YAMAHA	55.900	1
2	5 久富 圭	Ash	TONYKART	YAMAHA	55.974	2
3	40 大槻 直	Ash	TONYKART	YAMAHA	56.069	4
4	84 林 零仁	ONE POINT	CRG	YAMAHA	56.086	5
5	56 角 陽向	GLEATEQ Motorsports	GLEATEQ	YAMAHA	56.154	6
6	15 田中 哲	RL アステック	birelART	YAMAHA	56.057	3



Winner 高村宏弥 (HIGUCHI RACING TEAM)

久富選手とは永遠のライバルだと思っているので、ぶっ潰してやろうと思っていました。でも、強かったですね。速いポイントが違ったので、そこだけ気を付けていました。セッティング的にきついなと思ったので、次のレースへ向け改良を考えてもう少し速くなるように考えます。

Rd.4

Pos.No.	Driver	Team	Frame	Engine	Q.P.	GRID
1	6 高村宏弥	HIGUCHI RACING TEAM	SWF	YAMAHA	56.053	3
2	40 大槻 直	Ash	TONYKART	YAMAHA	56.114	4
3	5 久富 圭	Ash	TONYKART	YAMAHA	56.024	1
4	84 林 零仁	ONE POINT	CRG	YAMAHA	56.028	2
5	44 谷 飛鳥	トレンタクトロ名古屋 with nuova	MINATOKU KART	YAMAHA	56.211	6
6	27 舟橋弘典	Ash	KOSMIC	YAMAHA	56.243	7



Winner 高村宏弥 (HIGUCHI RACING TEAM)

最後はタイムは落ちたんですが、自分の手の内に入る路面というか、コントロール内にはあったので、その範囲内で攻めていった感じです。2年くらい勝てていなかったんで、今日は絶対に勝つつもりで来たので、2回とも優勝でよかったです。

CHAMP KARTING SERIES

MOTUL

EXGEL®
Motorsport

PONOS

Triple K

DUNLOP

ThreeBond

TONE®

monocolle

YAMAHA

bodum

GLEATEQ

KARTREPUBLIC

H

EDIFICE

NGK
SPARK PLUGS

Arai
HELMETS

CRG

Energy

PAROLIN

Carmate

Fastflux

nismo

Edelbrock

JK

SOVOLA
Squad Of Victory Lubricants